



忍中学の名を誇れ

忍中学校だより

令和2年8月号

☎554-9371 生徒数 323名

校訓
『自治・協同・勤勉』

学校教育目標 「自ら学び ともに鍛え 未来を拓く 人になる」
認め合い高め合い支え合う学校で、よりよい社会を創造する忍中生を育てます！

池江璃花子さん「希望の炎」五輪1年前メッセージから

今日で、1学期が終了します。6月1日からの2か月間、いかがだったでしょうか。最初は、新型コロナウイルス感染症予防のための「学校の新しい生活様式」に慣れることが大変だったことでしょう。今では、マスクの着用やソーシャルディスタンス、手洗い・うがいの習慣化など、「うつらない」、「うつさない」ための行動や生活がしっかり身についてきました。ご協力ありがとうございました。



このような中、先日（7月23日）、延期された東京五輪開幕1年前であるその日、白血病から競技復帰を目指す競泳女子の池江璃花子さんが、世界中に祈りのメッセージを発信しました。メイン会場となる国立競技場で、真っ暗なスタジアムに純白の服で、3月にギリシャで採火された聖火のランタンを掲げ、スピーチをする姿を、皆さんもご覧になったことでしょう。

スピーチでは、「TOKYO 2020。今日、ここから始まる1年を単なる1年の延期ではなく「プラス1」と考える。それはとても、未来志向で前向きな考え方だと思いました。もちろん、世の中がこんな大変な時期に、スポーツの話をする事自体、否定的な声があることもよくわかります。ただ、一方で思うのは、逆境からはい上がっていく時には、どうしても、希望の力が必要だということです。希望が、遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくても、前を向いて頑張れる。私の場合、もう1度プールに戻りたい。その一心でつらい治療を乗り越えることができました。世界中のアスリートと、アスリートから勇気をもらっているすべての人のために。1年後の今日、この場所で、希望の炎が、輝いていてほしいと思います。」と語っています。

このスピーチから、未来志向で前向きな考え方を持つことや逆境からはい上がっていく時には、希望の力が必要であること、希望が、遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくても、前を向いて頑張れることを伝えています。

新型コロナウイルス感染症の感染者が増加している現在、まだまだ様々な面で、思いどおりにならないこともたくさんありますが、忍中生の皆さんには、常に未来志向で前向きな考えを持ち、希望の炎を輝かせてほしいと思います。校長 芙蓉 良明

部活動が本格的に再開されました



6月18日より、1年生の部活動仮入部が開始され、部活動が本格的に再開されました。3年生は7月で引退となりましたが、それぞれの部で頑張っていました。

今年度初めての定期テスト



7月13日、14日の2日間、期末テストが実施されました。今年度初めての定期テストでした。

どの生徒も真剣に取り組んでいました。

行田版フォローアップ教室



行田市では、中学3年生の希望者を対象に、7月18日から8月29日までの土曜日、6回にわたって、行田版フォローアップ教室が実施されています。

8月・9月の主な行事予定

【 8 月 】

22日(土) 環境整備 8:00~
(予備日23日)

※終了後、2年PTA本部役員決め

24日(月) 2学期始業式・避難訓練

25日(火) 月①~④・学・学 ※弁当持ち

26日(水) 給食開始

29日(土) 行田版フォローアップ教室

【 9 月 】

19日(土) 体育祭 ※予備日20日、25日

23日(水) 振替休業日